

市長への手紙（平成29年3月分）

「今後の茂原市のまちづくりについて」

サンヴェルビル（旧そごう）およびイオンなどの使われてない場所や閉鎖された場所などが今後どのようになるのか、今後茂原市をどのようにしていきたいのか、見通しについてお聞かせいただきたい。

【回答】

茂原駅周辺は、「茂原市都市計画マスタープラン」において茂原中心拠点ゾーンに位置付けられており、商業の活性化や様々な都市機能が集積する利便性を活かし、茂原の顔となる中心拠点としてのまちづくりを進めています。そのような中で都市計画道路の整備や茂原駅前通り地区土地区画整理事業が進められております。

ご質問のありましたサンヴェルビル（旧そごう）およびイオンについてですが、今後のあり方等を社内で検討しているとのことですが、現段階で具体的な計画等は聞いておりません。

一方、茂原市では人口減少や急速な少子高齢化に的確に対処しつつ、将来にわたって活力ある地域を維持することを目的に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在各種取り組みを実施しております。

特に、雇用の創出や子育て支援等、若い世代を意識した取り組みに重点を置くことで、転出傾向の強い若い世代の定住による、活気あるまちづくりを目指してまいります。なお、「茂原市都市計画マスタープラン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、市公式ウェブサイトをご覧いただければ幸いです。

また、来年度よりシティプロモーション戦略を策定するなかで、市民とともに茂原市の強み、弱みを再認識し、強みの活用、弱みの克服により地域の魅力の向上を図ることで、市民自らがあらためて茂原市に愛着や誇りを持ち、地域に根付く人づくりを進めてまいります。

【担当課：企画政策課】

「市民会館の建て替えについて」

まだ使える建物を壊すようなことをせず、日常生活に直結するインフラ整備を優先し、市民の不安・危険を解消すべきでは？

【回答】

既存の市民会館は昭和43年に建設され、施設の設計基準が古いこと、そして部材の経年劣化等により耐震基準値を満たせていないことから、今後は施設の安全性を考慮して、早期の閉館を検討しているところです。

また、既存施設の耐震基準を満たすための改修工事につきましては、大規模な補修が必要となり、それに要す工事費は十数億円規模との試算も出されております。

こうしたことから市民会館につきましては、「新築」あるいは「廃止」の二択となりますが、これまでも多くの市民から建て替えについての強い要望が上がっており、市といたしましても、市民の文化振興を図る上で市民会館は必要不可欠な施設として、本市総合計画に新たな施設への建て替えを位置付けているところです。

今後、市民会館の建設にあたりましては、市民の皆様からのアンケート調査や施設利用団体の意向調査、市民参加の勉強会によりさまざまな意見を伺うとともに、建築・芸術の専門家など多方面からの意見を取り入れ、施設の方向性や規模の検討をまいります。

また、ご指摘のとおり、市民会館の建設には多額の費用を要することから、資金面では基金の積み立てや補助金・交付金の活用、民間事業者との連携等、さまざまな手法を検討し、財政負担の軽減を図り、他の事業執行への影響を最小限にすることで、多くの皆様が納得できる市民会館の建設方針を検討してまいります。

【担当課：企画政策課】